

2026年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育実習 I (保育所)		教員氏名	久保小枝子/松浦浩樹/星早織/中野陽子 中安恒太/八代陽子/前島麻衣/中山恭一 吉田久仁子/矢野由佳子/杉田美香 横川剛毅/松山洋平/山本美貴子	
科目ナンバー	IV-8・9・10-1-1				
学年	1年		開講学期	後期	
授業形態	実習		単位数	2単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	—	
テーマ	・保育現場での実践体験を通して、保育者の働きを学び、保育者を志す者としての自身の課題に向き合う				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。 ○				
カリキュラムポリシー	科目群 I 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群 II 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群 III 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群 IV 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う ○			
授業の概要	・保育士資格取得にかかわる保育士課程必修の実習として、認可保育所において観察・参加実習を行う。 ・保育所での実習を通じて、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能および保育士の職務について実践的に学ぶ。				
授業の到達目標	(1) 保育所における保育の流れを理解し、主体的に保育に参加できる。 (2) 子どもの育ちを理解し、それに応じた保育士の援助や役割、および保育の内容や展開について説明できる。 (3) 保育所の機能や役割を説明できる。 (4) 今日まで学んだ理論・技術を具体的に活用し、実習において保育所保育士として必要な専門的知識・技術を実践できる。 (5) 礼儀・身だしなみ・言動・環境整備などにおける社会的な常識に基づいて行動できる。				
テキスト	『実習ルールブック』(和泉短期大学) 『事前・事後学習のポイントを理解！ 保育所・施設・幼稚園実習ステップブック』(みらい)				
参考書	『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』(厚生労働省)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(内閣府・文部科学省・厚生労働省)『保育・福祉小六法』(みらい)				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(Google Classroom含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験		実施しない		
	授業内課題・発表等	100	①実習登録手続きに関する状況 ②事前の書類(細菌検査・オリエンテーション報告書等)提出の状況 ③実習中の状況(巡回指導時の状況も含む) ④実習への出席状況 ⑤実習先からの実習評価 ⑥実習の記録(日誌)の提出、事後に必要な書類提出(欠席届等)の状況 ⑦実習の記録(日誌)の記述内容を総合的に評価する。		
	参加度・学習態度等		なし		
その他		なし			
再試験	行わない	行なわない場合の理由	実習期間と学内での事前事後学習を通して、複数回の評価と見直しの機会を設けている為、再試験を行わない。		